

## 反復練習することも大切

どうも手紙が間遠になっていたと書いていましたら、やはり愛子ちゃんの病状が良くなかったのです。

一日数回、多い日には十回以上も癲癇発作が起こるようになり、御両親は病院を求めて方々を歩き回っていたのです。とても、学習のことを考える余裕などなかったのです。

脳傷害によるこのような発作を無くするには、その損傷部位を外科手術により切除することで改善される場合もある、とドーマン博士は言っています。

大脳の神経細胞は、他の細胞と違って、分裂・増殖することができません。だから、一度傷ついた神経細胞は永久に良くなることがなく、また、この細胞は、死んだらそれでおしまいです。その代わり、最初から一四〇億個という、使い切れないほど大量の神経細胞が用意されているのです。それは、一生よく使っても、数分の一に過ぎないと言われているほどの量です。

だから、愛子ちゃんの場合も、外科手術という方法があるかもしれません。

でも、大脳という最も重要な所だけに、その手術は容易なことではありません。従って、手術を引き受けてくれる病院や医師を、見つけることが大変だと思っています。ことに、このような手術が盛んに行なわれ

るようにはまだなっていない現在、手術が必ず成功するという保証がありません。

ただ、薬によって発作をおさえる方法が、年ごとに進んでいます。愛子ちゃんも数年来その治療を受けているようですが、その方法によって一日も早く発作が起こらないようになることをお祈りします。

愛子ちゃんの手紙を見ますと、御両親の苦勞のほどが偲ばれます。正常な大脳を持った子供でも、これだけのことが考えられ、これだけの文が書けることは、決して容易にできることではありません。

だから、愛子ちゃんの発作が治まり、学習できるようになっても、これ以上の漢字の読み書きを望まず、今のこの力を十分に反復活用して、確実なものにすることに努めた方がよいと思います。

頭の働きは、頭を使うことによって良くなるのですが、それは新しい漢字を覚えることよりも、すでに覚えている漢字を、反復練習することの方が有益だ、と私は思っております。

一般には、その反対に考えられていて、覚えてしまった漢字の練習をしないで、新しい漢字を覚えることに力を入れがちです。

しかし、これは間違っています。新しい知識を増やそうとあせらずに、現在持っている知識を十分に活用することに力を入れることの方がずっと大切です。

それがほんとの力をつける道です。

愛子ちゃんの手紙を見て、そんなことを思いました。